

平成24年度

事業報告書

平成24年 4月 1日から
平成25年 3月31日まで

「平成24年度事業報告」目次

概 況

〈事業活動〉

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目的事業1）

（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	1
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	4
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	4
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	4
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	5
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	7
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	8
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	8
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	8
（10）その他の事業	12

2 計量証明事業（収益事業1）

（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	14
（2）分析業務に関する講習会・研修会等	14

3 受託講習会及び業務効率化支援並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）

（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	14
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	15
（3）各種用紙及び物品等の販売事業	15

4 管理部門

（1）法人運営に係る事業	15
（2）会員の入退会の状況	18
（3）許認可に関する事項	19
（4）役員に関する事項	19
（5）職員に関する事項	19

第1号議案 平成24年度事業報告

平成24年度 事業の実施状況 〈概況〉

平成24年度は、日本政治に吹き込んだ新風として注目された民主党政権が国民の負託に応えられずに終焉を迎え、安倍自民党が政権を取り戻す結果となった。

自民党は、景気の低迷や近隣諸国との緊張という課題を受け継いだが、まずは経済対策に最優先で取り組み、早速、円安、株高が進むなど市場も好印象で前向きに受け止めており、徐々にではあるが明るい展望が開きつつある。

このような中、当法人は、公益性を最優先とした透明性の高い運営を行い、県民に『浄化槽の果たす役割やその有効性』について正しく認識していただけるよう、周知・啓発に努めた。

特に、本年度事業で大きな変更があったのは、4月から新設浄化槽に対し維持管理標準契約制度が導入されたことであるが、大きなトラブルの発生もなくほぼ順調に推移、これまで十分な連携が図られていなかった施工・保守点検・清掃・法定検査の各業界が、連携協力する体制が整ったため、今後、適正管理100%を達成するための礎が出来たと考えている。

また、協議会による維持管理一括契約では、那賀町に続き、神山町でも平成24年度10月から、維持管理一括契約を開始した。なお、鳴門市は、現在協議を継続中である。

主幹業務である法定検査は、本年度から検査員の配置を見直し、督促検査専従班を設置、効率的、且つ効果的な受検指導体制を構築した。また、女性の受検連絡担当者も増員し、連絡の取れない施設の解消に努めた。

【公益目的事業1】

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業

1) 平成24年度は、稼働人員37名体制で、83,661基（年間計画数87,500基に対し95.6%）を実施した。

区 分	23年度検査数	24年度検査数	差 異
7条検査	2,858基 (26,449千円)	2,979基 (27,540千円)	121基 (1,091千円)
11条検査	78,969基 (438,592千円)	80,682基 (446,972千円)	1,713基 (8,380千円)
合 計	81,827基 (465,041千円)	83,661基 (474,512千円)	1,834基 (9,471千円)

また、検査手数料収入は、474,512千円で前年度比9,471千円増となっている。(P.43)

2) 法定検査の受検督促

平成23年度の未受検者を対象とし、センターから受検指導の後、各県民局長名による督促指導を行った。尚、西部総合県民局美馬管内については、1月に発生した文書発送事故により県民局長名による督促指導を中止した。

- ① センターからの文書通知後、電話アポインターによる受検指導を行った。その結果は次のとおりである。(P. 5 2)

センターからの受検指導		案内総数	1 3 0, 4 5 3 基	申込数	5, 3 4 5 基(4.1%)
【内訳】					
東部保健福祉局(徳島)	管内	案内数	8 5, 4 5 0 基	申込数	3, 5 8 1 基(4.2%)
南部総合県民局	管内	案内数	1 4, 0 0 3 基	申込数	6 2 4 基(4.4%)
東部保健福祉局(吉野川)	管内	案内数	1 5, 7 9 0 基	申込数	5 0 3 基(3.2%)
西部総合県民局	管内	案内数	1 5, 2 1 0 基	申込数	6 3 7 基(4.2%)

- ② センターからの受検指導で受検しなかった施設を対象に、各県民局長名による督促指導を行った後、電話アポインターによる受検指導を行った。その結果は次のとおりである。(P. 5 3)

各県民局長名による督促指導		案内総数	6 0, 3 1 9 基	申込数	3, 1 9 1 基(5.3%)
【内訳】					
東部保健福祉局(徳島)	管内	案内数	4 2, 6 0 0 基	申込数	2, 0 2 4 基(4.8%)
南部総合県民局	管内	案内数	8, 8 7 5 基	申込数	5 7 1 基(6.4%)
東部保健福祉局(吉野川)	管内	案内数	6, 2 0 4 基	申込数	3 3 2 基(5.4%)
西部総合県民局	管内	案内数	2, 6 4 0 基	申込数	2 6 4 基(10.2%)
(※西部総合県民局(美馬管内)については実施していません。)					

- ③ センターからの受検指導通知・各県民局長名による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検指導の実績は次のとおりである。(P. 5 2)

電話アポインターによる受検指導		電話連絡総数	6 2, 6 6 0 件
【内訳】			
	検査済み	7, 1 5 0 件	(11.4%)
	未検査	5 4, 4 1 6 件	(86.8%)
	休止・廃止	1, 0 9 4 件	(1.7%)

- ④ 那賀町らくらくあんしん協議会は、設立後3年目を迎え、6月に第2回通常総会を開催し前年度の決算報告・実績報告を行った。(P. 5 5)

契約の推進が一巡し、新規契約数が大幅に減少したため、定例打合せでは、現在の契約に関する問題点と対応策等を協議し、契約率向上への施策を検討した。その結果、汚泥処理、受入体制の問題等について、今後も協議を継続することとなった。

平成24年度の維持管理一括契約数(新規)は会員事業所による契約勧奨や法定検査時の一括制度の案内により、47件が契約し、合計899件(45.1%)となった。(P. 55)

浄化槽設置数(10人槽以下) : 1, 9 9 5 基	維持管理一括契約数 : 8 9 9 基(45.1%)
-----------------------------	----------------------------



- ⑤ 神山町きれいな水づくり推進協議会は、維持管理一括契約の実施に伴う問題点の洗い出しや広報の方法等を協議し、10月1日からは維持管理一括契約の受付を開始した。
 会員業者による契約勧奨によって平成24年度末の契約数は217件となった。(P. 5 6)

<神山町きれいな水づくり推進協議会 一括契約に関する定例会議・打合会議>
 (8/28、10/3、10/5、10/9、10/10、10/30) 打合会議 計6回
 (6/18、9/4、9/27、10/26、11/8、1/18、3/21) 定例会議 計7回

<一括契約推進のための担当者説明会>
 (8/4) 維持管理一括契約説明会 (センター)
 (9/7) 会員担当者説明会 (株アズマ四国)
 (9/10) 会員担当者説明会 (有マルシンクリーン)
 (9/11) 会員担当者説明会 (有井内清掃)

<神山町民への広報活動>
 (7/21) 道の駅温泉の里神山および個別訪問にてパンフレットの配布
 (9/14) 神山町広報誌へのパンフレット挟み込み
 (12/14) 神山町広報誌へのパンフレット挟み込み

浄化槽設置数 (10人槽以下) : 1, 7 5 1 基 維持管理一括契約数 : 2 1 7 基 (12.4%)

神山町きれいな水づくり協議会

協議会定例会議 (計7回)
協議会打合会議 (計6回)

担当者説明会 (計4回)

パンフレット配布広報活動 (7/21)

- ⑥ 鳴門市浄化槽協議会においても、実施に向けての検討を行い、問題点の洗い出しや維持管理一括契約開始までのスケジュールなどについて協議した。
 (6/18) 第2回打合せ
 (8/7) 第3回打合せ

3) 平成24年度の委託事業である下記市町村の設置確認検査及び事前検査は次のとおりである。

市 町 村	事 業 内 容	平成 23 年度	平成 24 年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査	7 2 3 基	7 3 3 基	1 0 基
	設置確認検査	6 7 6 基	6 8 5 基	9 基
三好市	設置工事竣工事前検査	4 1 基	2 8 基	▲ 1 3 基

(2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

1) 平成24年度は8支所で新設浄化槽3,004基(うち40基は取下げ届提出、昨年比128基増)の設置届出書及び計画書を受付した。今年度から県浄化槽事務取扱要領の改正に伴い、「**浄化槽維持管理標準契約書**」(以下「**標準契約書**」という)の添付が義務付けられたが、準備期間がほとんどなかったため、当初大きな混乱が予想されていたが、現時点では、大きな混乱もなくほぼ順調にスタートした。あわせて7条検査及び11条検査の申込も受け付けた。但し、年度末に使用開始報告での問題が提起されるなど改善すべき課題も出されており、次年度に改めて県と協議する予定である。
その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP57のとおりである。

2) 郵便物の届かない浄化槽や新設浄化槽、建売物件の入居状況等を1名の調査員と法定検査で付近に立ち寄る検査員によって再調査し、検査対象浄化槽のデータ整備を図った。
調査による現場確認数 5,990基 (総数1,5104基(39.7%))

(3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

1) 不適正浄化槽については、まず、検査時に改善指導を行い、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関(環境整備課、県民局(福祉局)、土木、市町村)から文書による改善指導を行っている。

23年度実施分の法定検査改善状況は不適正と判定された浄化槽14,102基(指導項目総数16,105件)に対し、改善指導を行い、その結果、平成24年度末までに5,418項目件数の改善報告を受け付けた。このうち、改善確認検査を要する不適正浄化槽425件については、96件の改善報告があり、再検査により67件の改善を確認した。未改善の浄化槽については、引き続き改善の指導を行う。(P.61)

2) 水質改善に関する調査研究を目的として水質改善委員会を開催し(計7回)、不適正浄化槽の中から、水質が悪化しているが原因が不明のものを選び、二次検査を実施した。実施件数及び結果は下記のとおりである。尚、改善が見込めない単独浄化槽については、合併浄化槽へ転換を説明している。

二次検査数：14基

水質悪化原因	件数	二次検査内容
流量調整・循環水量の調整不備	5件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
一次検査時との状況相違による原因不明	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
清掃時期の到達	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
硝化反応による影響	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
生物ろ過の目詰まり	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
空気供給量の調整不備	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
ピーク流入における一時的な機能低下	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
合計	14件	

(4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業

平成24年度は全浄連が行う機能保証制度の登録申請書1,988基(取下除く)を受付し、全浄連及び管轄の市町村に対し、保証制度登録者受付台帳を送付した。また、設置者には、保証書とともに適正な維持管理のパンフレット及び「**標準契約書**」の控えを送付し、使用後の適正な維持管理についての周知を図った。なお、当該期間の機能保証の申立は0件であった。よって地方保証制度審査委員会は開催していない。(P.62)

今後は、保証期間内の不適正浄化槽に対して制度説明を行い、適用されるものについては十分活用出来るような体制にしていきたい。

	23 年度申請件数		24 年度申請件数		前年度対比 (取下除)
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	
書類申請	1,627 基	40 基	1,679 基	59 基	33 基
電子申請	484 基	24 基	378 基	10 基	▲ 92 基
合計	2,111 基	64 基	2,057 基	69 基	▲ 59 基

(5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業

① 浄化槽に関する普及啓発事業として下記事業を行った。

<啓発CM放映>

6月 1日～10日 徳島シティビジョン15秒CMを1000回

<環境月間啓発活動>

6月 5日 JR徳島駅前にてパンフレット配布

6月16日 小松島ルピアでパンフレット配布・アンケートの実施

6月22日 フジグラン阿南店・アピカ阿南店でパンフレット配布

6月30日 フレスポ阿波池田でパンフレット配布

<神山町浄化槽維持管理啓発活動>

7月21日 道の駅温泉の里神山および個別訪問にてパンフレットの配布

<浄化槽月間啓発活動>

10月 1日 JR徳島駅前にてパンフレット配布

10月10日 マルナカ脇町店・フレスポ阿波池田でパンフレット配布・アンケートの実施

10月12日 キョーエイアピカ阿南店・ゆめタウン徳島店でパンフレット配布

<震災フォーラムへの出展参加>

2月 2日 「震災に強いとくしまづくりフォーラム」への参加(アスティとくしま) 徳島県主催のフォーラムに参加し、震災時の浄化槽写真パネルの展示とともに震災に強い浄化槽の周知を図った。





環境月間街頭啓発(池田6/30)



神山町浄化槽維持管理啓発活動(7/21)



浄化槽月間街頭啓発(10/1徳島駅前)



浄化槽月間街頭啓発活動(池田10/10)



浄化槽月間啓発(ゆめタウン10/12)



震災に強いとくしまづくりフォーラム(2/2)

- ② 8支所窓口において、来所する設置者や業者を対象に専門的な知識を持っている職員が浄化槽の適正な施工や維持管理等に関する相談に随時対応した。
- ③ インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。
- ④ 県の委託事業である、浄化槽関係書類の受付業務については、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録、設置者には受理通知書を送付した。
- ⑤ 要綱改正に伴い、添付が義務づけられた「**標準契約書**」については、10人槽以下の浄化槽全ての添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。また、委託を受けた保守点検・清掃業者には、担当を決めて直接訪問し、毎月適正な運用について周知した。
- ⑥ 受付した浄化槽のうち、市町村の補助対象となっている書類については、7条及び11条検査の申込書、設置届出書(又は計画書)、「**標準契約書**」の控えや検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行及び送付した。

(6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

- ① 新しく浄化槽の設置申請をした方を対象に浄化槽教室を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村担当課には、受講者台帳及び受講証明シールを送付した。
(P. 63)

浄化槽教室出席者状況 (対象：平成 24 年 1 ～ 25 年 1 月の申請数 2,721 基)
開催 5 1 会場 出席者数 2, 1 4 7 名 (出席率：7 8 . 9 %)
※対象数 (申請数) には、未着工、未完成分も含まれております。



浄化槽教室 (5 1 会場)

- ②年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター職員が講師となり浄化槽に関する説明会を実施した。

平成 2 4 年 5 月 3 1 日 市町村浄化槽担当者説明会 (徳島県環境技術センター)

内容 : 浄化槽に関する処理技術と構造の変遷
徳島県における法定検査実施の実情

- ③徳島県で指定採水員制度を導入している三好市において、指定採水員として必要な資質の向上と、最新の知識技能の習得を目的とした指定採水員講習会および定期更新講習会を開催した。

平成 2 4 年 6 月 8 日 指定採水員更新講習会 (三好市保健センター)

平成 2 4 年 1 0 月 1 0 日 指定採水員講習会 (池田総合体育館会議室)

- ④徳島県の委託事業として、県内の保守点検業者・清掃業者等を対象に保守点検技術講習会を開催した。また、講習のほか、浄化槽の関連機器の展示も行った。

平成 2 4 年 9 月 2 1 日 保守点検技術講習会 (参加者：1 7 5 名)

会場 : 徳島グランヴィリオホテル

講義 : コンパクト型浄化槽の保守点検と清掃の実務
浄化槽検査機関の役割と活動について
保守点検業者登録の更新等について



市町村浄化槽担当者説明会 (5/31)



保守点検技術講習会 (9/21)

⑤県内の清掃業者・保守点検業者等を対象に浄化槽メーカー別清掃技術講習会を開催した。また、講習のほか、浄化槽の関連機器の説明も行った。

平成25年3月16日 浄化槽メーカー別清掃技術講習会（参加者：65名）

会場：センチュリープラザホテル

講義：1.「浄化槽の清掃実務について」

＜対象メーカー＞

- ・(株)ダイキアクシス
- ・(株)ハウステック
- ・アムズ(株)
- ・クボタ浄化槽システム(株)

2.「警報器付きブロワの紹介」

- ・メドー産業(株)

(7) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

- 1) 各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類についての調査を行い、その情報を取り纏めて一覧表を作成し、関係者に配布した。
- 2) 浄化槽に関係する最新情報や浄化槽に関する各種データ等を載せた月刊情報誌「みどり」を発行し、各行政機関等へ配布するとともに、当法人の8支所にも備え置き、一般の方にも提供し同時にインターネットのホームページにも掲載した。
- 3) 浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している、「全浄連ニュース」を会員及び各関係機関に無償配布した。

(8) 地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

- 1) 徳島市の委託事業である、合併浄化槽転換推進事業では、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽のパフレットを配布又は利点を説明し、合併浄化槽への転換を進めた。

転換推進啓発内容	平成23年度実施件数	平成24年度実施件数	前年度対比
パンフレット配布業務	6,026件	6,716基	690基
合併への転換説明業務	1,723件	1,700基	▲23基
啓発数計	7,749件	8,416基	667基

(9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

① 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

みなみから届ける環づくり会議は、企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南での環境課題の解決を目標に活動しようとする産学官民の協働体である。当センターは、昨年度会員として認められたため、積極的に会議に参加し、水環境を改善するための活動等について発言した。

【会議への参加】

平成24年4月26日、7月31日、10月17日、12月12日、

平成25年1月23日、2月20日、3月3日（計7回）



みなみから届ける環づくり幹事会(12/12)



みなみから届ける環づくり会議総会(3/3)

- ② 学校教育において、環境学習を熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。
また、夏休みには、センター会議室を開放し、夏休み子供環境科学実験講座を開催した。

【環境学習への取り組み】

- | | | | |
|--------|---------------------------------------|-----------------|-------|
| 6月 8日 | 津田中学校 | | |
| 6月15日 | 藍住東小学校 | | |
| 6月22日 | 津田中学校 (センターに
来訪して施設見学及び
科学実験講座) | | |
| 7月 3日 | 日和佐小学校 | | |
| 8月 4日 | 徳島県環境技術センター | 「夏休み子供環境科学実験講座」 | |
| 11月 1日 | 児安小学校、 | 11月 7日 | 芝田小学校 |
| 11月20日 | 久勝小学校、 | 12月12日 | 高志小学校 |
| 12月19日 | 藍畑小学校、 | 1月15日 | 加茂中学校 |



津田中学校(6/8)



藍住東小学校(6/15)



津田中学校 (センターに
来訪 6/22)



日和佐小学校(7/3)



夏休み子供環境科学実験（徳島県環境技術センター）（7/3）



児安小学校（11/1）



芝田小学校（11/7）

（合計 11回開催）

③ 「浄化槽の日」ポスターコンクールの開催

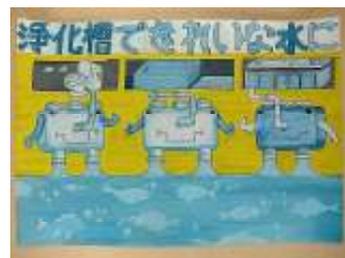
未来を担うこどもたちに、水の大切さを知ってもらうため夏休みの課題としてポスターを募集した。優秀作品には徳島県知事からの表彰式を執り行い、表彰状・記念品を贈呈した。

- 7月～8月末 県内小中高等学校へ作品の募集
- 9月26日 応募作品審査会（応募96点 最優秀-3点、優秀-9点、佳作17点）
- 10月23日 徳島県知事室にて優秀作品表彰式
- 11月～3月 浄化槽教室の来訪者等を対象に、当センターに展示した。

平成24年度「浄化槽の日」ポスターコンクール最優秀作品と表彰式



（小学校の部最優秀作品）



（高校生の部最優秀作品）



（中学校の部最優秀作品）



表彰式で知事と記念撮影

④ 「水すまし隊」による活動

県内の子どもたちに「水の大切さ」や「環境を守っていくこと」の必要性を知ってもらうため、センターの若手職員が主となって、様々なイベントを企画し、多くの参加者に啓発ができた。また、ホームページのブログでは、水すまし隊の活動報告や個々のメンバーからの報告を掲載した。

- 4月 1日 津田地区「六右衛門祭り」
地域の活性に貢献するため、鉢植え販売や金魚すくいを行い、同時に浄化槽の適正な維持管理を啓発した。
- 6月 9日 あすたむらんど「環境の日」イベント
針金で「あめんぼう」を作り水に浮かせ、水の性質を学ぶ
- 7月31日 あすたむらんど「水の日」イベント
子どもたちと水の大切さを学ぶため、池の水の入れかえの機会に、竹の水鉄砲で花に水をやり、水を有効利用した。
- 10月27日、28日 あすたむらんど「サイエンスフェア」
子どもたちと自然にやさしいスーパーボールを作る。

⑤ 「検査推進ワーキング」による活動

普段、検査推進について検討している中堅からベテラン職員が構成メンバーである、「検査推進ワーキング」の委員が、とくしま動物園での啓発活動を行った。

- 12月23日 とくしま動物園 浄化槽啓発活動
浄化槽に関するアンケートの実施、ぬり絵・魚釣りゲーム大会など

【水すまし隊・検査推進ワーキングによる活動】



津田地区「六右衛門祭り」(4/1)



子どもたちと水の大切さを学ぶ(7/31)



あすたむらんど「環境の日」イベント(6/9)





「サイエンスフェア」(10/27~28)



とくしま動物園浄化槽啓発活動(12/23)

⑤ 徳島市パークアドプト清掃活動

徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園の除草や清掃を適宜に実施し、地域の美しい憩いの場を確保した。

(活動実施日) 7月6日、9月7日、12月21日



徳島市パークアドプト清掃活動

⑥ CSR活動報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <http://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

① 職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、知識や技術の向上に努めた。また、日常の業務に関わる事項として、警察署職員を招いての交通安全教室や、メンタルヘルス及び個人情報保護に関する知識を習得するための研修も実施した。

4月 1日	検査員基礎知識試験(社内)
5月30日	管理者向けメンタルヘルス講習(ストレスマネジメント)
7月18日	事業場スタッフが行う不調者への面接方法
8月 1日	心の健康づくり 職場復帰支援プログラムの作成
8月28日	徳島東警察署職員講師による交通安全教室
1月26日	環境教育インストラクター養成セミナー
3月22日	個人情報保護法に基づく職員研修
毎月1回	支所勤務職員を対象とした報告会及び研修会



交通安全教室 (8/28)



個人情報保護法 職員研修 (3/22)

② 開催・出席した主な会議等

<全浄連四国支部・検査機関四国地区協議会>

- 4月 全浄連四国支部・検査機関四国地区協議会総会を開催した。
- 7月 全浄連四国支部・検査機関四国地区協議会事務局長会議に参加した。
- 9月 検査機関四国地区協議会 検査員研究会を開催した。
- 10月 全浄連四国支部・検査機関四国地区協議会合同役員会に参加した。
- 10月 第26回浄化槽技術研究集会に参加した。
- 11月 検査機関四国地区協議会 ソフトボール大会に参加した。
九州地区検査員研修会に参加した。



全浄連四国支部・四国地区協議会総会 (4/12)



四国地区協議会検査員研究会 (9/13)



第26回浄化槽技術研究集会 (10/17～18)



四国地区協議会ソフトボール (11/10)

【収益事業1】

2 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

(1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

①濃度計量証明事業として特定事業場排水の分析を主に実施した。

平成24年度の証明件数は2,805件（前年度比14件減）であった。（P.64）

②上記証明件数のうち、ビル衛生管理法に基づく水質検査は66件実施した。

③その他、各種製品の浄化槽への影響評価試験等を実施した。

(2) 分析業務に関する講習会・研修会等

内部研修として、当センターにて計量証明事業規程細則に基づく研修を実施した。

外部クロスチェックとしてISO/IEC 17043に基づく技能試験（第62回～第64回）に参加。またSELF（分析値自己管理会）によるクロスチェック（第111回～第112回）にも参加し、外部試料による精度管理を実施した。

<研修会の参加状況>

- | | |
|--------|--|
| 6月 1日 | pH・導電率測定ノウハウセミナー |
| 8月 31日 | 計量証明事業規定細則 10.3 に基づく研修
産業廃棄物の検定方法に係る金属などの検定方法改正について |
| 2月 8日 | 計量協会講演会
電気計器の概要とその歩みについて |
| 2月 22日 | 広環協研究発表並びに最新技術発表会
最新分析方法について |
| 3月 18日 | 産業廃棄物の検定方法に係る金属などの検定方法説明会 |

【収益事業2】

3 受託講習会及び業務効率化支援並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

1) 各委員会の開催

【保守点検・清掃委員会】（1回開催）

保守点検・清掃委員会を開催し、無資格者による管理の排除や無管理浄化槽の指導強化、維持管理標準契約の問題点について協議した。

【施工技術委員会】（2回開催）

施工技術委員会を開催し、無資格者による浄化槽工事の防止策や設備士の地位向上のための施策について協議した。

【施工技術／保守点検・清掃合同委員会】（1回開催）

「標準契約書」において、各業界それぞれの立場で意見を出し合い、施工から維持管理業務へとスムーズに移行できるよう、連携協力体制構築のための意見交換を行った。

【特別委員会】（2回開催）

メーカー、施工技術、保守点検・清掃の各委員会の委員長・副委員長、並びにそれぞれの担当理事から構成される特別委員会を開催し、標準契約やその他諸課題について、検討を行った。（25年度も引き続き協議する予定）

2) 講習会・研修会の開催

①浄化槽管理士講習 第6回徳島会場を開催した（13日間）

6月4日～6月16日 徳島県立総合福祉センター

受講者： 71名 修了者： 61名

- ②浄化槽技術管理者講習 第6回徳島会場を開催した（3日間）
 12月10日～12月12日 徳島県立総合福祉センター
 受講者： 58名 修了者： 52名

(2) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

- 1) 昨年度の継続事業として、保証登録申請の電子申請を行なった。
 前年度に導入した保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの期間が短縮されている。

(3) 各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数量
各種用紙関係	浄化槽設置届出書・計画書	4,260部
	標準契約書	4,163部
	変更届出書・計画書	129部
	構造審査申請書	12部
	工事業・特例工事業申請書	16部
	保守点検登録申請書	63部
物品販売他	DVD「未来の川もきれいだといいいね」	1部
	浄化槽関係法令集	8部
	浄化槽処理対象人員・汚水量算定要領	13部
	工事業登録票	1部
	透視度計	1部

【その他の事業】

4 管理部門（法人）

(1) 法人運営に関する事業

- 1) 上半期地区報告会の開催（4月）
 8支所毎に地区報告会を開催し、平成24年度の事業計画及び収支予算を説明した。また、任期満了による役員改選に伴い、同時に地区選考会を開き、新しい理事及び委員を地区毎に推薦頂いた。
- 2) 下半期地区報告会の開催（1月～2月）
 支所8ヶ所に於いて、平成24年度上半期の事業実績や市町村設置型浄化槽及びPFIについて説明し、同時に定期的な会員との意見交換の機会として地区報告会を開催した。
- 3) 監査・総会の開催
【会計・業務監査】
 4月25日
 平成23年度の会計監査・業務監査を行った。
 11月6日
 平成24年上半年期（4月～9月末）までの会計監査・業務監査を行った。

【定時社員総会】

5月25日

第2回定時社員総会を開催し、平成23年7月～24年3月末までの事業報告・決算報告を行った。また、任期満了に伴う、理事及び監事の選任を行った。

4) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。

・常任理事会（7回）、理事会（6回）



会員地区報告会(4/4～4/23)



会計及び業務監査(4/25)



第2回定時社員総会(5/25)



第7回理事会(7/27)



会計及び業務監査(11/6)



会員地区報告会(1/22～2/7)

5) 管理士・設備士に関する事業

徳島県浄化槽管理士会・徳島県浄化槽設備士会の共催として技術講習会を開催した。

9月8日 徳島県浄化槽管理士会との共催で「浄化槽維持管理講習会」の開催

12月1日 徳島県設備士会との共催で「浄化槽工事技術講習会」の開催



浄化槽維持管理講習会(9/8)



浄化槽工事技術講習会(12/1)

6) 会員親睦活動

下記の親睦活動を開催し、会員間の交流を図った。

7月28日 観光地引き綱（北の脇海岸）



観光地引き綱(7/28)



観光地引き綱(7/28)

7) 他団体への視察

東日本大震災の被災地への視察や浄化槽に関する知識の習得を目的とした視察を行った。

10月17日 宮城県生活環境事業協会の案内により被災地石巻市を視察

1月8日 愛南 SPC 視察

1月28日 和歌山県 (株)ヴァイオス桃山リサイクルセンターの汚泥再資源化施設を視察



被災地石巻市の視察(10/17)



汚泥再資源化施設の視察(1/28)



愛南SPC視察(1/8)

8) その他

経費削減及び個人情報保護の強化を目的としてセンター内の施設の整備を行った。

① LED電灯の導入（常時使用するフロアのみ）

② 入退室を管理するシステム

入退室管理システムの導入



（玄関に設置）



（事務室・検査室・倉庫に設置）



(2) 会員の入退会の状況

平成24年度、会員として入会した企業は7社であった。また、退会会員は3社であった。

<会員の入・退会状況>

平成25年3月31日現在

地 区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備 考
徳 島	44社	4社	1社	47社	(うち準会員1社)
鳴 門	12社	0社	1社	11社	
小 松 島	11社	0社	1社	10社	
阿 南	22社	1社	0社	23社	
海 部	6社	0社	0社	6社	
阿 北	6社	0社	0社	6社	
美 馬	8社	1社	0社	9社	
三 好	14社	0社	0社	14社	
メーカー	13社	1社	0社	14社	
合 計	136社	7社	3社	140社	

<入会会員>

地 区	会 員 名	代表者	入会日	部 会
徳 島	豊栄設備工業株式会社	田村 茂人	H24.4.1	施 工
徳 島	アイテック	神谷 雅樹	H24.4.1	保 守 点 検
徳 島	有限会社エスピック工業	中川 幸彦	H24.4.1	施 工
美 馬	西部興業有限会社	谷 富夫	H24.4.1	施 工
徳 島	株式会社 共誠	白鳥 文秀	H24.4.1	準 会 員
阿 南	有限会社大松谷清掃	大松谷 仁	H24.7.23	清 掃
メーカー	メドー産業(株) 大阪支店	松原 郁雄	H24.12.1	メーカー

<退会会員>

地 区	会 員 名	退会日	備 考
小 松 島	椎平建設(有)	平成24年 4月 1日	都合による
鳴 門	(有)松下水道工業所	平成24年 4月 23日	〃
徳島	ダイヤハウジングベゼル	平成25年 3月 31日	〃

<会員内訳>

地 区	施 工	保守点検	清 掃	合 計	
東 部	徳 島	23社	16社	8社	47社
	鳴 門	8社	3社	0社	11社
	小 松 島	7社	0社	3社	10社
南 部	阿 南	19社	2社	2社	23社
	海 部	4社	1社	1社	6社
西 部	阿 北	2社	0社	4社	6社
	美 馬	6社	1社	2社	9社
	三 好	12社	2社	0社	14社
メーカー					14社
合 計	81社	25社	20社	140社	

※＜参考＞

3月15日の理事会に於いて、1社の入会が承認された（入会は平成25年4月1日）

地 区	会 員 名	代表者	入会日	部 会
三 好	有限会社 西部衛生社	中山 繁男	H25.4.1	保守点検

(3) 許認可に関する事項

- 1) 徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定
- 2) 計量証明事業登録（平成12年12月14日 第74号）
- 3) 建築物飲料水水質検査事業（平成20年2月18日 徳島県徳保20水 第1号）

(4) 役員に関する事項

平成25年3月31日現在

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	大坂 利弘	非常勤	(有)大坂建材 代表取締役
副 会 長	井内 幸一	非常勤	(有)井内清掃 代表取締役
専務理事	原岡 艶甲	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	吉村 正	非常勤	(有)吉村建材店 代表取締役
〃	川人 誠司	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局次長
理 事	藤田 芳男	非常勤	藤田商事(株) 代表取締役
〃	庄野 清	非常勤	(有)庄野水道工事店 代表取締役
〃	田村 茂人	非常勤	豊栄管理工業 代表者
〃	岡崎 光二	非常勤	(有)阿波池田浄化槽サービス 代表取締役
〃	吉岡 誠	非常勤	(株)アズマ四国 代表取締役
〃	中筋 章聡	非常勤	中筋建工(株) 代表取締役
〃	加統 叙男	非常勤	(株)ハウステック 徳島営業所所長
監 事	眞鍋 清	非常勤	公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	弁護士

(5) 職員に関する事項

平成25年3月31日現在

職 員 数	入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	48名	4名	39.2才	10.2年
女性	28名	7名	38.9才	7.3年
合計又は平均	76名	11名	39.1才	9.1年